

小津中学校2年 各教科 学習のポイント

	国語	社会	数学	理科
付けた い力	<p>I 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている</p> <p>II 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、深めている</p> <p>III 言葉を通し積極的に人と関わり、思いや考えを深め、その価値を認識し、感覚豊かに、言葉を適切に使おうとしている</p>	<p>I 国土、歴史、政治、経済、国際関係等を理解し、調査や資料から様々な情報を効果的に調べ、まとめている</p> <p>II 社会的事象を多面的・多角的に考察し、社会課題の解決に向け選択・判断・説明したり、それらを基に議論している</p> <p>III 国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている</p>	<p>I 数量や図形などの基礎概念や原理・法則などを理解し、事象を数学化し、数学的に解釈・表現・処理している</p> <p>II 論理的に考察し、数量や図形を統合的・発展的に考察し、数学的表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現している</p> <p>III 数学の楽しさやよさを実感し粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとし、過程を振り返り改善しようとしている</p>	<p>I 自然の事物・現象について概念・原理・法則を理解し、探究に必要な観察・実験・記録などの操作や技能を身に付けている</p> <p>II 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験を行い、結果を分析・解釈・表現し、科学的に探究している</p> <p>III 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている</p>
各教科より	<p>○授業のポイント</p> <p>① 語句・文法・表現技法・文章の構成など文章を読むための知識を覚える。(これが基礎！)</p> <p>② 文章を読み、自分の考えを広げ、情景を想像できるように。</p> <p>③ 自分の意見や知っていることを相手にわかりやすく説明できるように。(話す・書く)</p> <p>④ 自分の感情・想い・感動したことを言葉にして相手の想像を促す、話を聞いて創造する。(話す・聞く)</p> <p>※中心となる活動は、プレゼン・ディスカッション(討論) 詩・随筆・意見文、読書活動などです！</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>① (予習) 教科書の学習内容を前日までに必ず読んでおく。→わからない言葉や漢字を自分で辞書で調べる。本文の内容を説明できるか要約をノート等を書く！</p> <p>② (予習) 文法や語句の授業は予習課題を出題予定！→授業までに必ず取り組む。 ※自分が「わからないところ」をわかっておく。</p> <p>③ わからない・あいまい→必ず復習し、できるように。</p> <p>④ 新出漢字は必ず漢字ワークで練習し、定着を！</p> <p>⑤ タブレットドリルを毎日コツコツ取り組む！</p> <p>⑥ 先生からの復習課題は超重要！(みんなが苦手な所です！) →できなかったところは、OZUチャレ等でがんばろう！</p>	<p>○授業のポイント</p> <p>① 授業に集中し、基本の事象(語句)を丸暗記ではなく、意味や理由と一緒に覚える。</p> <p>② 交流時間に積極的に聞きに行く。教えに行く。ペアや班活動で考え、協力して課題解決に取り組む。また、交流した内容をわかりやすくまとめ、発表する。</p> <p>③ テスト前に焦らないように、毎日の授業と自学(復習・くり返し問題)を大切にす。</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>① 学んだ内容を自分なりにノートにまとめる。まとめるだけで終わらず、定期的に見返す。</p> <p>② タブレットドリルの演習問題や白ブリ、ワークなどの問題を何度も解く。</p> <p>③ 1度解いて終わらず、間違えた問題にチェックをつけ、何度も解きなおす。</p> <p>④ 2回以上間違えた問題にさらにチェックをつけ、解きなおす。</p> <p>⑤ 覚えた内容を、人に説明して理解しているか確認する。</p>	<p>○授業のポイント</p> <p>① 予習をし、自分はどこまでわかり、何がわからないのかを認知しておく。(Ⅲ)</p> <p>② 予習を活かしてどんな解き方ができそうか見通す。(Ⅱ)</p> <p>③ 一人で考え、解いてみる。(Ⅰ)</p> <p>④ 自分の意見を持ち、対話を重ねて考えを共有する。(わからなくても、自分がどこからわからないのかを把握し、相談する。)(Ⅱ)</p> <p>⑤ 発表をすることで表現力を高める。(Ⅱ)</p> <p>⑥ 他人の発表から自分の考えを広げる。(Ⅱ)</p> <p>⑦ 間違えても意見や計算の過程を全て消さず、どこで間違えたのかをわかるように残しておく。(Ⅲ)</p> <p>⑧ 改めて問題がわかったか練習してみる。(Ⅲ)</p> <p>⑨ その日学んだことをふり返り、なるほどシートにまとめる。(Ⅱ・Ⅲ)</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>① OKURAノートは、○付けをし、×の所は最低限計算式や考え方も書くこと。</p> <p>② 解説を見ても分からない問題は期限内に質問にくること。</p> <p>③ タブレットドリルなどで粘り強く分かるまで繰り返し取り組み、OZUチャレで頑張る。</p>	<p>○授業のポイント</p> <p>① 日常生活に潜む理科について関心を持ちましょう。習った原理や技術が、どこで使われているか考えてみましょう。</p> <p>② 「どうしてそうなるの？」という疑問を大切にし、話し合い活動では、積極的に取り組みましょう。</p> <p>③ 授業で自分の考えを書きとき、間違いを怖がらずにどんどん挑戦していきましょう。</p> <p>④ 各単元のふりかえりシートには、教科書・ノートをそのまま写すのではなく、自分の考えや調べたことをまとめましょう。</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>① 家に帰ったら、授業で進んだ範囲のワークやタブレットドリルの問題を進めておきましょう。(まとめてやろうとせず、コツコツ進めておこう) その時に、わからないこと・疑問に思ったことがあれば、先生に質問に来ましょう。</p> <p>② 間違えた問題には、必ずチェックをつけておき、テスト前に見直すようにしましょう。</p> <p>③ 一問一答形式で単語を暗記するだけでなく、友達に説明できるようにしておきましょう。</p>

音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語
<p>I 曲想と音楽の構造・背景や音楽の多様性について理解し、表現に必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している</p> <p>II 音楽の要素やその関連を知覚・感受し、関わりを考え、思いや意図をもって表現し、音楽を評価し味わって聴いている</p> <p>III 音・音楽・音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しむ主体的・協働的に表現及び鑑賞に取り組もうとしている</p>	<p>I 対象や事象を捉える造形的な視点について理解し、表現方法を創意工夫し、創造的に表している</p> <p>II 造形的なよさや美しさ、表現の意図・工夫・働きを考え、主題を生み、豊かに発想・構想し、美術に対する見方や感じ方を深めている</p> <p>III 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に、表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている</p>	<p>I 各種の運動の特性に応じた技能等及び、個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けている</p> <p>II 自己や仲間の運動・健康の課題を発見し、合理的な解決に向け思考し判断するとともに、それらを他者に伝えている</p> <p>III 生涯にわたり運動の楽しさや喜びを味わえるよう、各種の運動の合理的な実践に最善を尽くし、健康・安全の学習に自主的に取り組もうとしている</p>	<p>I 生活と技術について理解するとともに、それらの技能を身に付けている</p> <p>II 生活や社会の中から問題を見だしして課題を設定し、解決策を構想・評価・改善し、表現するなどして課題を解決している</p> <p>III よりよい生活や持続可能な社会の構築に向け、課題解決に主体的に取り組む、振り返って改善し、工夫・創造・実践しようとしている</p>	<p>I 外国語の音声や語彙、表現、文法、動きを理解し、聞く、読む、話す、書くの実際のコミュニケーションで活用している</p> <p>II 目的や場面、状況に応じ、外国語で日常的・社会的話題について、簡単な情報や考えなどを理解・活用し、表現したり伝え合ったりしている</p> <p>III 外国語の文化的背景への理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮し、主体的に外国語によるコミュニケーションを図ろうとしている</p>
<p>○授業のポイント</p> <p>① 小テストがありますので、しっかり頑張りましょう。</p> <p>② 単元テストに向けて、頑張って学習しましょう。</p> <p>③ グループ創作の活動があります。グループで協力して頑張りましょう。</p>	<p>○授業のポイント</p> <p>① 鑑賞した作品の特徴や技法をしっかり把握すること。</p> <p>② 作品を鑑賞し自分の考えや思いをわかりやすく文章でまとめる。</p> <p>③ 鑑賞した作品の技法や作者の思いを参考に、作品制作を行うこと。</p> <p>④ 作品制作中は集中して取り組み、最後まで手を抜かず細部にこだわって完成させる。</p> <p>⑤ 提出日までに間に合うよう計画的に考え、制作する。</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>① 単元テスト前には、しっかりと鑑賞した内容を振り返ること。</p> <p>② 制作途中の作品を持ち帰るときは、提出日までに間に合うよう、ていねいに制作すること。</p>	<p>○授業のポイント</p> <p>① 運動や健康に興味や関心を持って積極的に取り組もう。</p> <p>② 運動の行い方など自分の課題を見つけ、見通しを持って、課題に取り組もう。</p> <p>③ 対話活動を通して自分の考えを広げ、学習を深めよう。</p> <p>④ ルールやマナーを守り、安全に気をつけて取り組もう。</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>① 基本的生活習慣(食事、運動、休養・睡眠)の調和のとれた生活を送ろう。</p> <p>② 学習したことを実生活に生かそう。</p> <p>③ 運動や健康に関する情報に興味や関心を持とう。</p>	<p>○授業のポイント</p> <p>① ペアワークや班活動を通して意見交換を行い、自分の考えを広げましょう。</p> <p>② 毎回の授業で、めあてを確認し、見通しを持って、課題に取り組ましよう。</p> <p>③ 普段の生活の中で、学習した力を発揮できるようにする。</p> <p>④ 授業の中で自ら課題を見つけ、課題の解決方法を考えよう。</p> <p>⑤ 授業をふり返り、知識を身につけ、活用しましょう。</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>① 学んだことを振り返りながら、生活や次の学びに生かす。</p> <p>② 学習したことを日常生活のなかで実践してみよう。</p> <p>③ 授業を受けて気になったこと、より深く学びたいと思ったことを調べよう。</p> <p>④ 衣食住に興味を持ち、日々の生活を送りましょう。</p>	<p>○授業のポイント</p> <p>① しっかりと声に出して、単語や本文を読む練習をしよう。</p> <p>② 文法のルールを理解し、問題を解きながら定着させよう。「基本文マスター」を自分で解けるように。</p> <p>③ 英語でのペアワークやグループワークなどの活動に積極的に取り組み、失敗を恐れず、英語で話したり書いたりしよう。また、分からない英語でも、積極的に聞いたり読んだりしよう。</p> <p>④ 英文を読むとき、英文を書くときは、今までに習った表現を思い出したり、調べたりして、少しでも内容を理解しようとし、また短い文でも書くようにしよう。</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>① 単語を読みながら何度も書いて、覚えよう。書く練習は、家で!!週末課題は必須です。</p> <p>② 授業で使う「基本文マスター」に、計画的に取り組もう。そして、解答シートの「Try Again」にも取り組み、反復練習をしよう。</p> <p>③ 「基本文マスター」を自分で解けない生徒は、Ozuチャレ(放課後学習会)に参加しよう。</p> <p>③ タブレットドリルに取り組む、長文や、リスニングにも積極的に挑もう。</p>
<p>自分で学ぶ力を！～家庭学習の心得～</p> <p>一、自分にピッタリの勉強を見つけられるように。(まずは友達のマねをしてみよう)</p> <p>一、勉強中はスマホをしまい、通知音をオフに！</p> <p>一、しんどい日は5分でもいいので、机に向かおう。(毎日学習)</p> <p>一、できなかったところからが、本当の勉強の始まりです！</p>				